

1 全体計画

学校の教育目標

- 地域に生きる南台の子
 - ・かしこく
 - ・やさしく
 - ・げんきよく



平成30年度学校経営方針

- 1 地域に根ざした開かれた学校づくり
- 2 豊かな心の育成
- 3 学力と体力の向上



本校の捉える「確かな学力」

- 主体的に学びに向かう力
- 基礎的・基本的な知識技能の定着
- 思考力・判断力・表現力



平成30年度の指導の重点

<各教科>

- ・主体的・対話的な学びになるように授業改善をしていき、学びに向かう力を育てる。
- ・個に応じた指導を充実させ基本的な知識・技能を身につけると共に、問題解決的な学習を通して、思考力・判断力・表現力を育てる。

<生活指導>

- ・安全で、児童一人一人が安心して学習できる生活環境、学級集団をつくり、あいさつや返事が自分からできる、心身ともに健康な児童を育てる。

<道徳>

- ・豊かにかかわり合う活動を重視し、他者との対話を通して、自分自身を見つめ、自分で自分を育てようとする児童を育てる。

<総合的な学習の時間>

- ・自ら課題を見つけ、解決していく探究的な学びを通して、自分で問題を解決していく力やものの見方・考え方を育成する。

<特別活動>

- ・多様な集団活動を通して、自主的に活動を創り上げる意識と実践的態度を育てる。

<進路指導>

- ・社会の変化に主体的に対応するため、生涯を通じて学ぶ態度や能力の育成を図る。



授業改善の視点

<p>指導内容・指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかわりながら学ぶことで、学力を身につけるとともに、よりよい人間関係をつくる。 ・ICT等による個に応じた指導や見通しと振り返りにより主体的な学びを実現する。 	<p>教育課程編成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中に補充学習を行う。 ・計画的な放課後学習を行い。基礎基本の定着をはかる（「寺子屋南台」）。 	<p>評価の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座席表などを活用し、子供を見取り記録していく。 ・評価を次時の学習に活かし、指導と評価の一体化を行っていく。 ・2学期制の趣旨を生かした評価を大切に支援を重ねていく。 	<p>校内研究・研修の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の実施に向けて毎月一回程度、15分間の研修を実施する。 ・年4回（道徳科授業3回・他教科1回）の授業研究を行う中で、豊かにかかわり合いを通じた主体的・対話的で深い学びのある授業を研究する。 ・全員が年2回の授業観察時にも同様に実践を行う。 	<p>家庭・地域との連携の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校経営方針に基づいた学校の考え方を保護者や地域に伝え、共有し、地域と共に子供を育てる。（連携教育の推進） ・地域の人材を活用した授業を公開していく。
---	--	---	---	---